

教育基本法改悪でますます悪化

「いじめ隠し」「履修不足」問題

土浦平和の会 齋藤 房雄

最近では数が減ったとはいえ、子供の「いじめ自殺」問題は依然として深刻である。本県のひたちなか市やつくば市からも「自殺予告文」が文科省に寄せられているという。

一方、富山の県立高校から始まった必修「世界史はずし」などの履修問題は、ほとんど全国の広がりその数はいくらとどまるところを知らない（履修不足は公立高校だけで4万7000人）。本件では高校長の自殺まで出る悲劇が生まれた。なぜこんな事態になったのか。問題の解決には、学校や教師の責任を問うだけでなく、「何が学校をそうさせたか」を究明することが大切である。

その原因の一つは、「数値目標」を掲げ、競争原理を働かせて結果をあおる“成果主義”が教育界にも浸透していることではないか。そんな雰囲気の中で子供の孤立感やストレスが強まり、子供同士の関係性が薄くなり、自分のことは自分にしか頼れないと言う気分が子供の心を覆う。SOSを発しても受け止めてもらえないと言う絶望感、無力感が子供を自殺に走らせるのかもしれない。

いじめ問題は一人の教師が抱え込むのではなく、校長も含む教職員全体のチームワークで対応することが不可欠である。ところが、教員評価システムにより校長や教職員の間に溝が出来、教師同士が分断され、チームワークが組みにくくなっている現実がある。また、かてて加えて学校や行政の「いじめ隠し」によって、より問題の解決を困難にしている。

必修科目履修問題も根っこは同じである「履修不足」が判明した学校の多くは、いわゆる進学校、大学受験のための授業を優先させ、入試に関係ない科目の履修を意図的に省いていた実態が浮き彫りになったのである。昨今、大学入試の「軽量化」が進み、英語、国語など1、2科目だけの入試を行う私大が少なくない。その元で、世界史など必修科目の代わりに英語など受験に有利な学習をさせる。「×大学何人以上、四大合格×%」などと数

字を掲げたとともに、生徒の顔が見えなくなる。まさに競争教育の弊害にほかならない。

いじめ自殺が何人出ても、「0」の目標の前では、これらの悲劇はなかったことになる。高校は、単なる「受験マシーン」と化し、ましてや、生徒・人ひとりの喜怒哀楽や生きる意味がないがしろにされ、追求されるのは、無機質な数値のみとなる。

学校に人間の心を回復させるためにも、政府案の教育基本法第17条に「数値目標」化が語られるような「改正」を断じて許してはならない。

「那珂九条の会」結成総会

那珂市平和委員会 川又 俊水

11月26日 ふれあいセンター横堀で、「那珂九条の会」結成総会を開きました。

フルートとギター演奏（村上守・真理子さん）でオープニング、記念講演・「憲法九条のぬうち」講師、谷萩陽一弁護士（水戸翔合同法律事務所長）の講演でしっかり学び、



浅川泰郷氏（那珂町元町長）の中国での戦争体験談は、残酷な人殺しや略奪・強姦などを語り、シベリヤ抑留では、一30度での生活や労働がきつく大変だったこと、戦争は人間を鬼にする、特に子供や婦女が犠牲になるので、二度と戦争はあってはならないと結びました。

つづいて、「那珂九条の会」結成に至る経過報告、申しあわせ事項提案、14人の呼びかけ人紹介、近隣「九条の会」からは、ひたちなか市の人見氏・常陸大宮市の大曾根氏の激励の挨拶があり、アピールが承認され結成総会を終わりました。

当日の参加者は40人でしたが、これからアピール署名を沢山集めようと確認しあいました。

年末財政活動にご協力をお願いします

毎度のことですが年末も押し迫ってきたおり、何かとお忙しいと思いますが、県の平和委員会も財政的に大変苦しくなっています。ついては皆様の下記のご協力を節に訴えたいと思います。

第3四半期会費と機関紙代の納入（12月1日請求）
12月8日朝日に掲載する意見広告「安倍さん憲法を変えないで」の賛同費
ワイン代金

12月25日までに納入にご努力ください。

-事務局-

平和かわら版

457
月3回発行
2006.12.5

平和新聞茨城版
発行：茨城県平和委員会
〒310-0912 水戸市見川5-127-281

Tel/Fax 029-251-2806
E-mail ibahei@amber.plala.or.jp



深夜に、ひたちなか市内で

阿見武器学校の自衛隊が徒歩訓練

新婦人、年金者組合、平和の会、共産党

が一斉に抗議行動

ひたちなか市平和の会 近沢 重男

市内・外野地区自治会で、11月16日付の、「緊急回覧」・「陸上自衛隊武器学校の夜間・市内徒步行進訓練」の連絡が回りました。

その内容は、11月24日18時から25日4時まで間、鉄帽、戦闘服(迷彩)、弾帯、サスペンダー、弾のう、半長靴、手袋を着用した阿見武器学校の自衛隊員38人が小銃、銃剣、背囊、水筒などを携帯して市内を徒步行進するというものです。

まさに、戦闘体制で真夜中に訓練が行われるという物騒なものです。

外野地区に住む新婦人県本部会長の武藤きよ子さんがこれを見て「ビックリ」。早速、「なぜ阿見の方からひたちなか市まで来て訓練するのか」、「誰が許可したのか」、「市民に恐怖を与えるのをどう考えるのか」などの質問と訓練中止の申し入れを、新婦人ひたちなか支部の代表とともに21日に市長に申し入れました。

またファックスで連絡を受けた年金者組合、ひたちなか平和の会、共産党市委員会の諸団体も緊急に会議を持ち、22日14時から年金者組合と平和の会が、15時から共産党がそれぞれ、市長への要請を行いました。また隣の東海村からも24日に代表が申し入れをおこないました。

市長は公用を理由に面談に応じませんでしたが、秘書課長、公聴課長、総務課長が対応しました。

「誰が許可したのか」に対しては、「市長選挙中でもあったので、助役と相談した」、「なぜ阿見の自衛隊がひたちなかで訓練するのか」には「たぶん、当市の爆破演習場があるからではないか(調査もせず推測で回答)」、「なぜ回覧で知らせたのか」には「市民が驚くといけなから」などと説明しました。

各団体は、自衛隊の申し入れを全面的に受け入れ、主

教育基本法の改悪に反対です
飯泉 英男
まじめで気持ちの優しい子がい
じめられ
生徒は先生にいじめられ
先生は校長にいじめられ
校長は教育委員会にいじめられ
教育委員会は大臣にいじめられ
大臣は総理にいじめられ
総理は大統領にいじめられる。
教育基本法の改悪はいじめ克
服に逆行するものです。これま
での遠慮がちのいじめがこんど
は大威張りでいじめられる
。「無理が通れば道理がひっこ
む」教育基本法の改悪に「反対の
輪を広げましょう。」

(中央平和の会より
13部より転載)

体性のない市当局の姿勢について強く抗議し、訓練中止を申し入れました。

また、訓練出発の24日21時には、市内などから23人が市内・自衛隊施設学校門前に集合し、直接、阿見の自衛隊員に対し、中止を申し入れました。

「ご迷惑をかけますが、よろしくお願ひしますと」おとなしい言葉で対応しましたが、予定どおり、抗議団のシュプレヒコールの間をくぐり21時から市内行進に出かけました。

抗議に参加した人たちは、「戦闘訓練が市街地でおこなわれるまで憲法違反が広がってきている、黙っていると大変なことになる」、「市内の演習場の撤去の運動を進めなくては」との声があがっています。

望年会・勉強会・例会等に利用してください

内原・友部平和委員会と東海村平和委員会が資料として[語り継ぐ7000日「昭和と戦争」DVD 全8巻]を購入いたしました。

あいている時は有効に活用してくださいと、両会から了承を得ています。

使用する会がありましたら県事務局まで連絡ください。

「九条の会・かさま」一周年のつどい

安倍さん、なぜ改憲なの

とき 1月27日(土)午後1時30分~5時
ところ 笠間市公民館大ホール

笠間市石井2068-1 0296-72-2100

参加費 一般・大学生 500円
高校生 300円
—プログラム—

「九条の会・かさま」からごあいさつ

第1部 絵本作家 **いわむらかずお**さんのお話

「自然、家族そして平和」

第2部 憲法の伝道師 **伊藤 真**さんの講演

「9条は世界の宝」—今こそ憲法を考えよう—

託見いたします。(要予約1/18まで)

連絡先 白土(0296-74-2684) 多崎(0296-73-0122)

主催「九条の会・かさま」

連絡先 小山保夫(72-1704) 多崎貞夫(73-0122) 林 昭雄(72-0037)

事務局便
師走に入ると毎度のこと、今までのやりの残しを一気に片づけたい。あわただしい。県でも特に会費、紙誌代、他等の未集金の一掃年末財政活動の点検、お願いと。運動にお金は比例していても付いてまわる。皆さんの協力(ま)